

2021年度（2022年3月期）

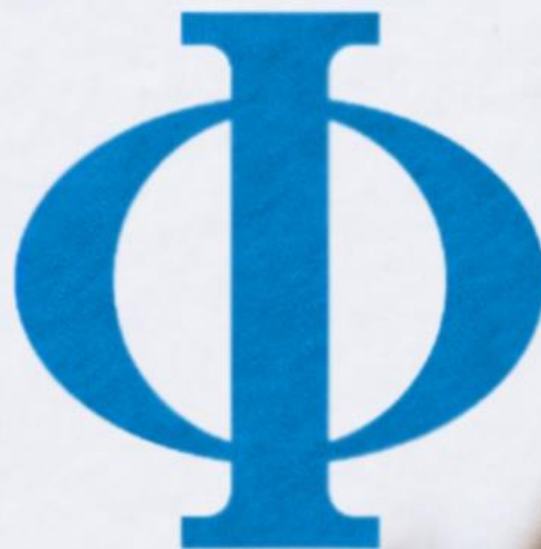
決算説明会 連結

株式会社フコク(東証プライム:5185)

2022年5月25日

ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます



Agenda

1. 決算のポイント
2. 2022年3月期実績
3. 2023年3月期業績予想
4. セグメント別・地域別の状況
5. 中期経営計画
6. プライム市場上場維持基準の適合進捗
7. 株主還元

1. 決算のポイント

1. 決算のポイント

2022年3月期実績

半導体供給不足による自動車メーカーの生産調整、原材料費や輸送費および燃料費の上昇などの影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染症の影響減による受注回復、採算改善の取り組みなどにより、前年より増収増益。

2023年3月期予想

新製品投入、受注回復による売上増加を見込む一方、原材料費や輸送費および燃料費の上昇傾向は当面続くと想定。次世代製品の開発を進めるとともに、一層の合理化・体質強化に努め、増収増益を目指す。

配当

当期期末配当金は1株当たり20円。中間配当金29円と合わせた年間配当金は49円。来期年間配当金は、連結配当性向30%の方針に沿い、1株当たり50円の予定。

2. 2022年3月期実績

2. 2022年3月期実績

業績概要（連結）

（単位：百万円）

	2021年 3月期	2022年 3月期	前年増減額	前年増減率
	実績	実績		
売上高	63,214	71,504	+8,290	-
営業利益 (売上高対営業利益率)	693 (1.9%)	1,749 (2.4%)	+1,056 (+0.5pp)	+152.4%
経常利益 (売上高対経常利益率)	1,435 (2.2%)	2,522 (3.5%)	+1,087 (+1.3pp)	+75.7%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	1,254 (1.9%)	2,084 (2.9%)	+830 (+1.0pp)	+66.2%

※「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度の期首から適用済み。売上高に影響が生じるため、売上高の対前期増減率は記載しておりません。
 ※pp=パーセンテージポイント

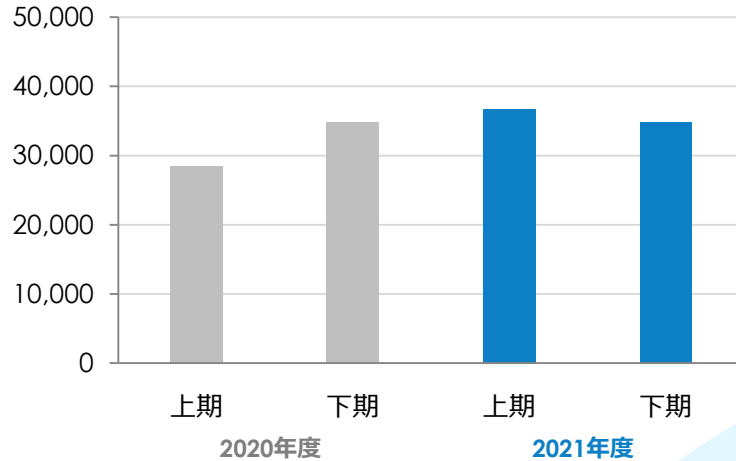
受注回復による増収に伴い増益

2. 2022年3月期実績

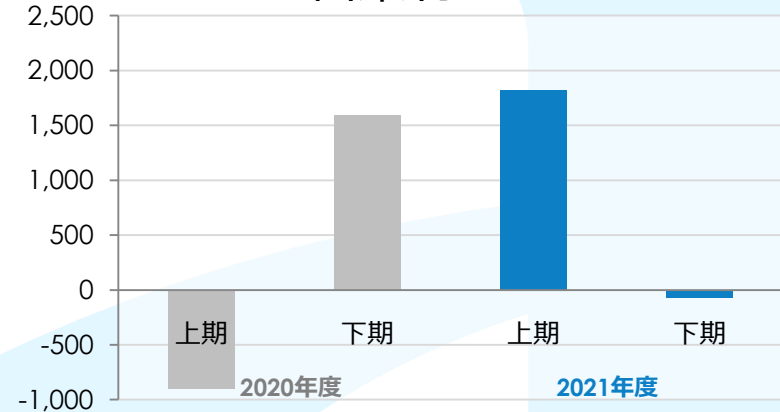
経営実績推移 (連結・半期)

(単位：百万円)

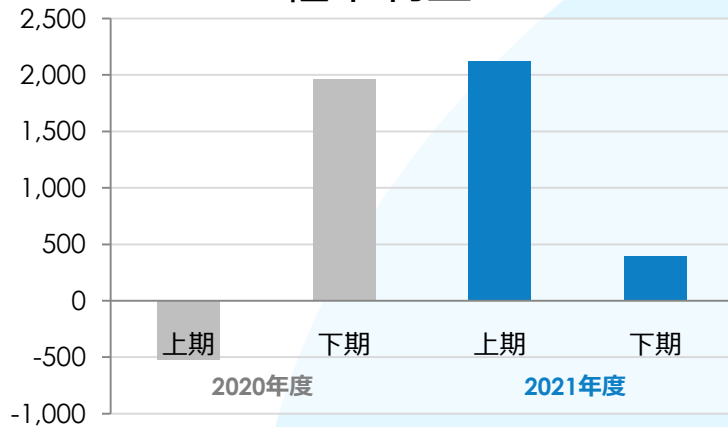
売上高



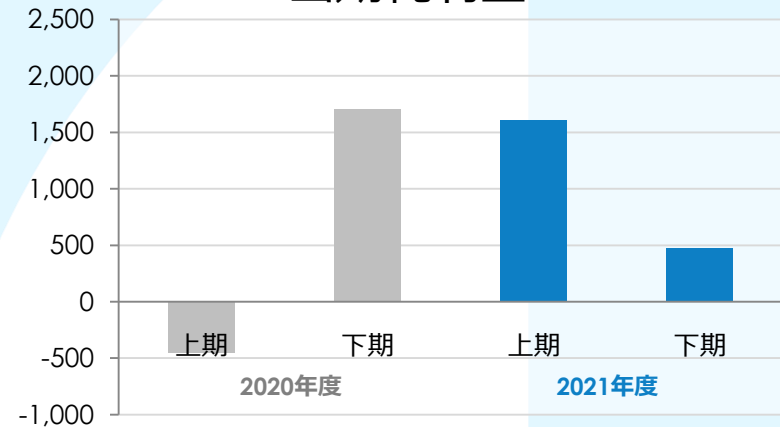
営業利益



経常利益



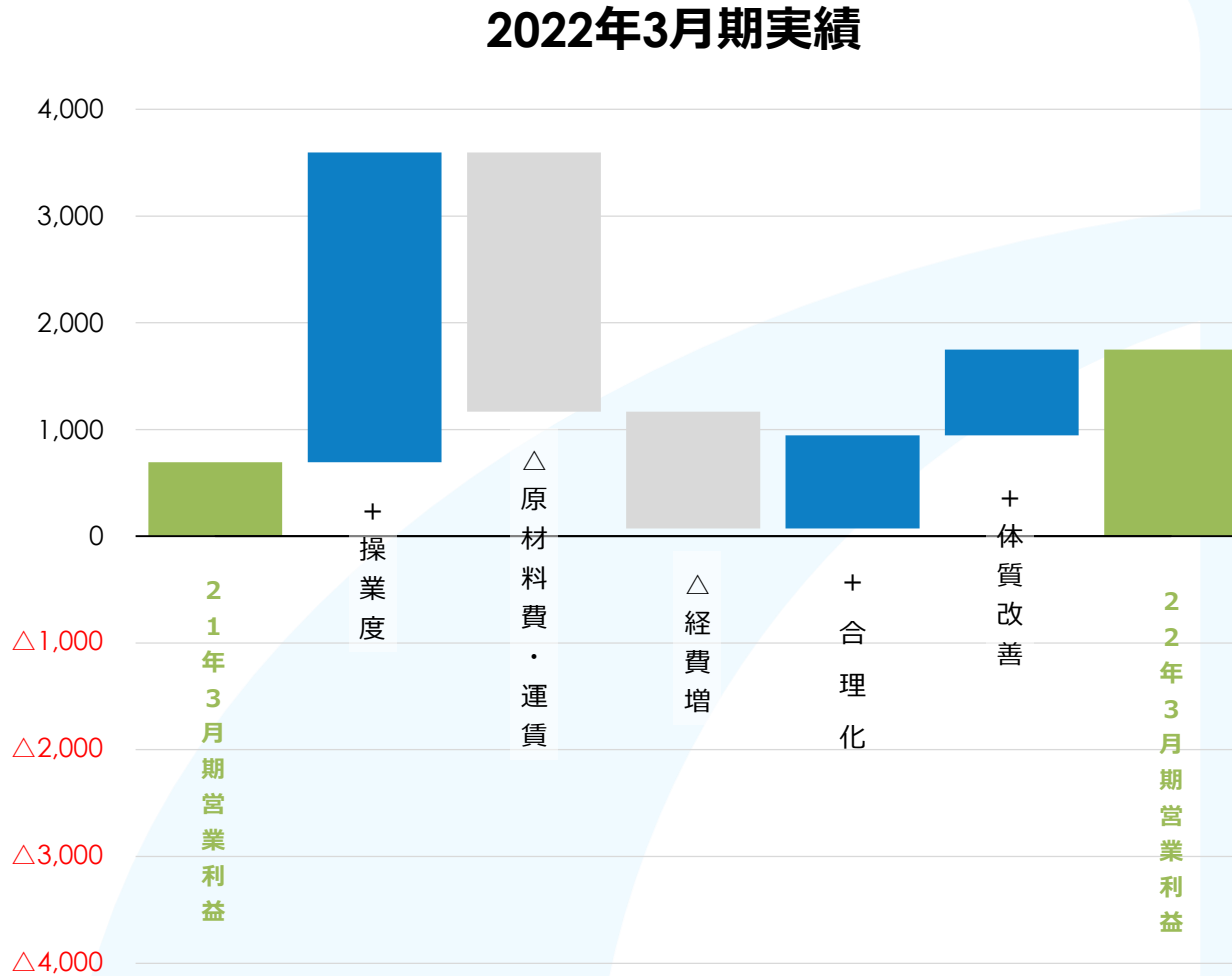
当期純利益



2. 2022年3月期実績

差異要因_連結営業利益（前年比）

(単位：百万円)



2. 2022年3月期実績

財政状態、キャッシュ・フロー概要（連結）

（単位：百万円）

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前年増減額
現金及び預金	8,992	9,301	309
受取債権	18,713	17,394	△ 1,319
棚卸資産	7,251	9,605	2,353
その他流動資産	1,261	1,443	181
流動資産計	36,218	37,744	1,525
有形固定資産	25,184	24,753	△ 430
その他固定資産	2,414	2,541	126
固定資産計	27,599	27,294	△ 304
資産計	63,817	65,039	1,221
借入金	12,089	10,930	△ 1,159
支払債務	9,441	9,926	485
その他流動固定負債	9,965	9,805	△ 159
負債計	31,496	30,662	△ 833
株主資本計	30,348	31,106	757
非支配持分	2,235	2,152	△ 82
その他	△ 262	1,117	1,380
純資産計	32,321	34,377	2,055
負債・純資産計	63,817	65,039	1,221

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績
税前利益	1,417	2,553
減価償却費	4,344	4,369
売上債権の増(△)減(+)	△ 633	2,080
棚卸資産の増(△)減(+)	297	△ 2,004
仕入債務の増(+) 減(△)	△ 663	△ 329
その他	△ 8	△ 1,325
営業活動によるC F	4,754	5,344
有形固定資産の取得	△ 4,325	△ 2,772
その他	298	△ 73
投資活動によるC F	△ 4,026	△ 2,846
借入れによる収入	3,050	2,150
借入金の返済による支出	△ 3,636	△ 3,512
その他	△ 273	△ 1,452
財務活動によるC F	△ 859	△ 2,815
フリー・キャッシュ・フロー	728	2,498

- 安全在庫を確保したため棚卸資産が増加、借入金は返済により減少

- 体質強化や生産体制改善に取り組んだ結果、フリー・キャッシュ・フローが改善
- 収益改善で借入金の返済が進む

3. 2023年3月期業績予想

3. 2023年3月期業績予想

業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2022年 3月期	2023年 3月期		
	実績	実績	前年増減額	前年増減率
売上高	71,504	77,000	+5,496	+7.6%
営業利益 (売上高対営業利益率)	1,749 (2.4%)	3,700 (4.8%)	+1,951 (+2.4pp)	+111.5%
経常利益 (売上高対経常利益率)	2,522 (3.5%)	3,800 (4.9%)	+1,278 (+1.4pp)	+50.6%
当期純利益 (売上高対当期純利益率)	2,084 (2.9%)	2,700 (3.5%)	+616 (+0.6pp)	+29.5%

※pp=パーセンテージポイント

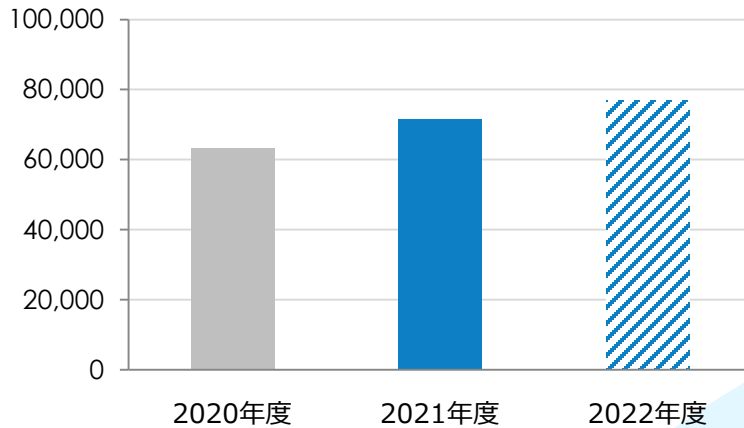
受注回復、合理化推進により増収増益を見込む

3. 2023年3月期業績予想

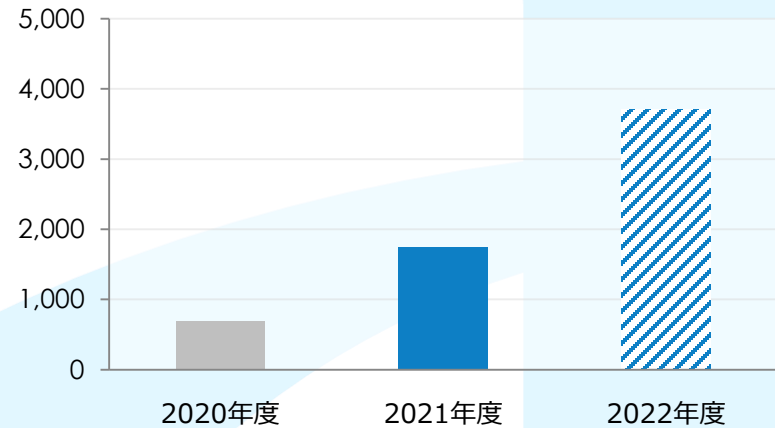
経営予想推移 (連結)

(単位: 百万円)

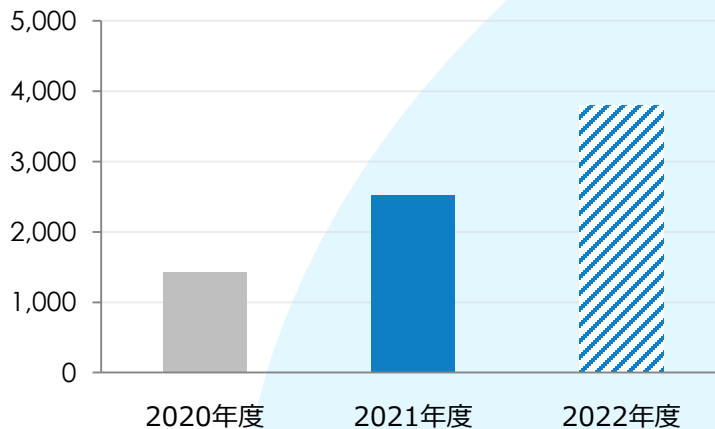
売上高



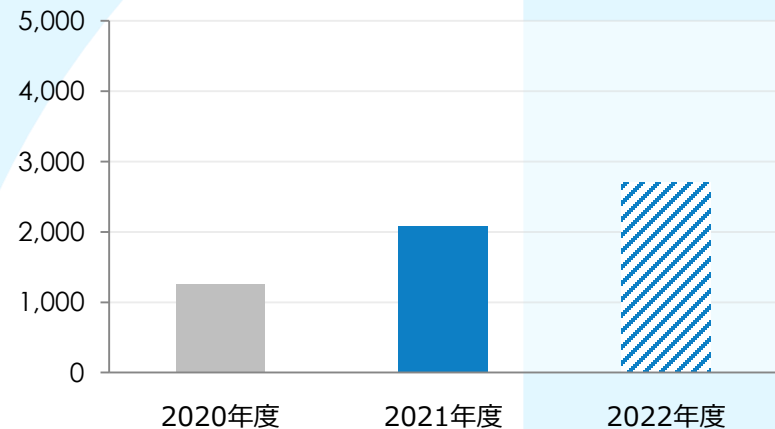
営業利益



経常利益



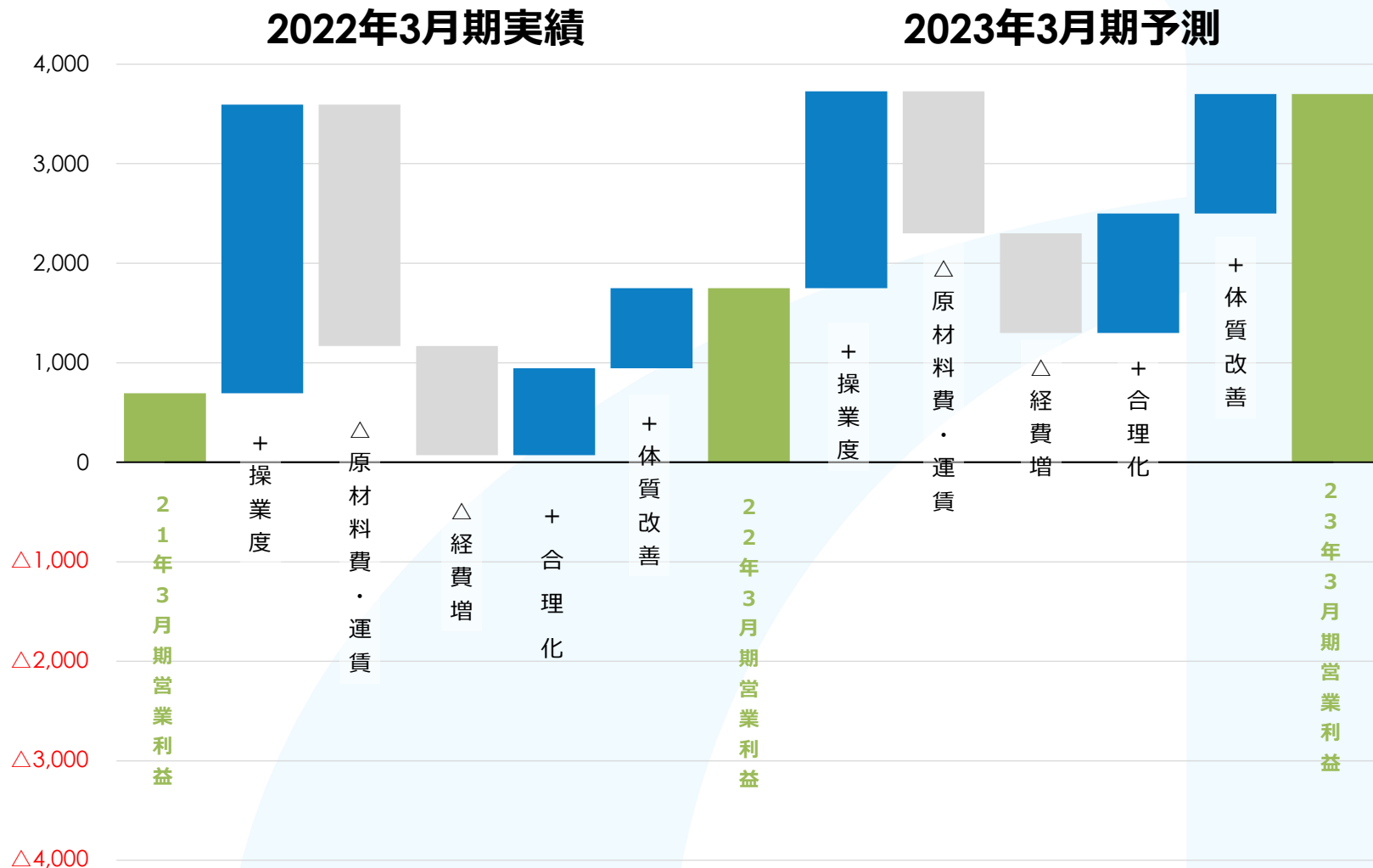
当期純利益



3. 2023年3月期業績予想

差異要因_連結営業利益（前年比）

（単位：百万円）



4. セグメント別・地域別の状況

4. セグメント別・地域別の状況

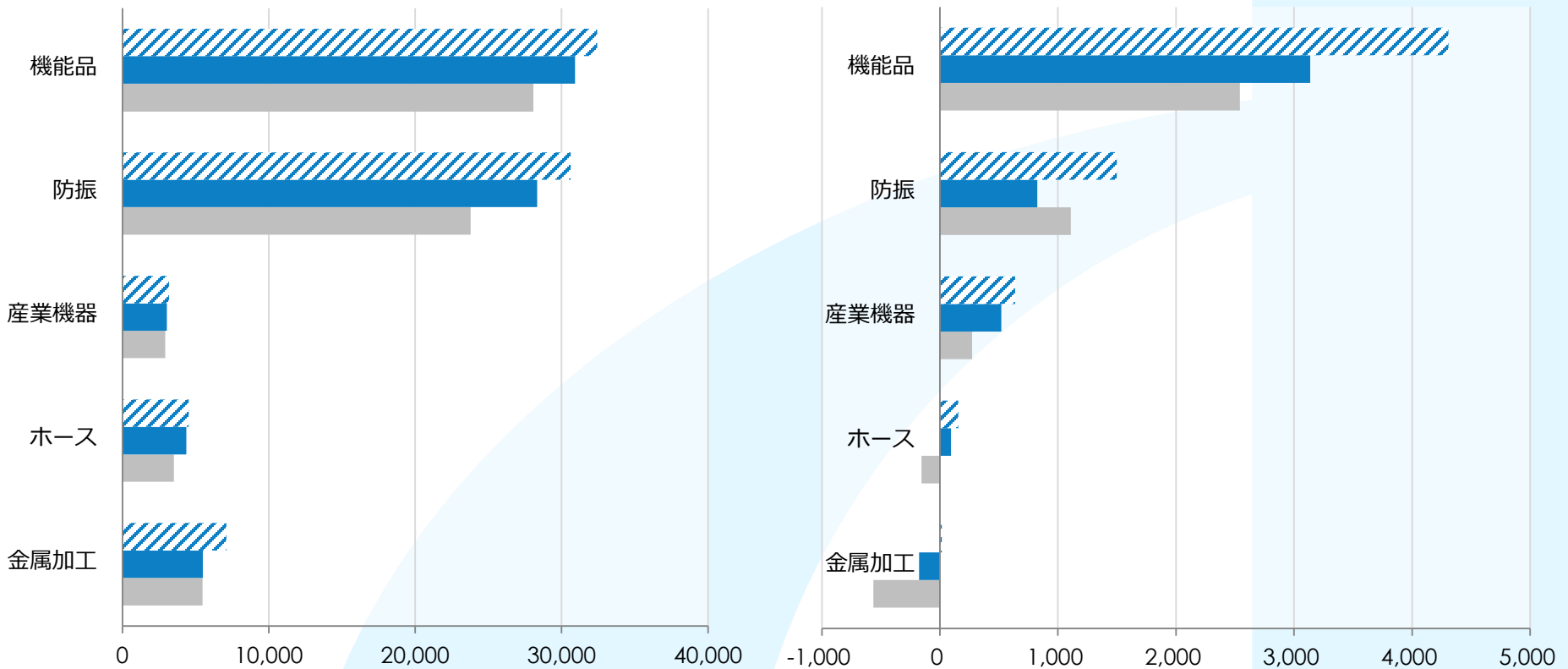
セグメント別

▨ 2023年3月期
■ 2022年3月期
■ 2021年3月期

(単位：百万円)

売上高

営業利益



※ 連結調整考慮前

全事業セグメントで黒字化を目指す

4. セグメント別・地域別の状況

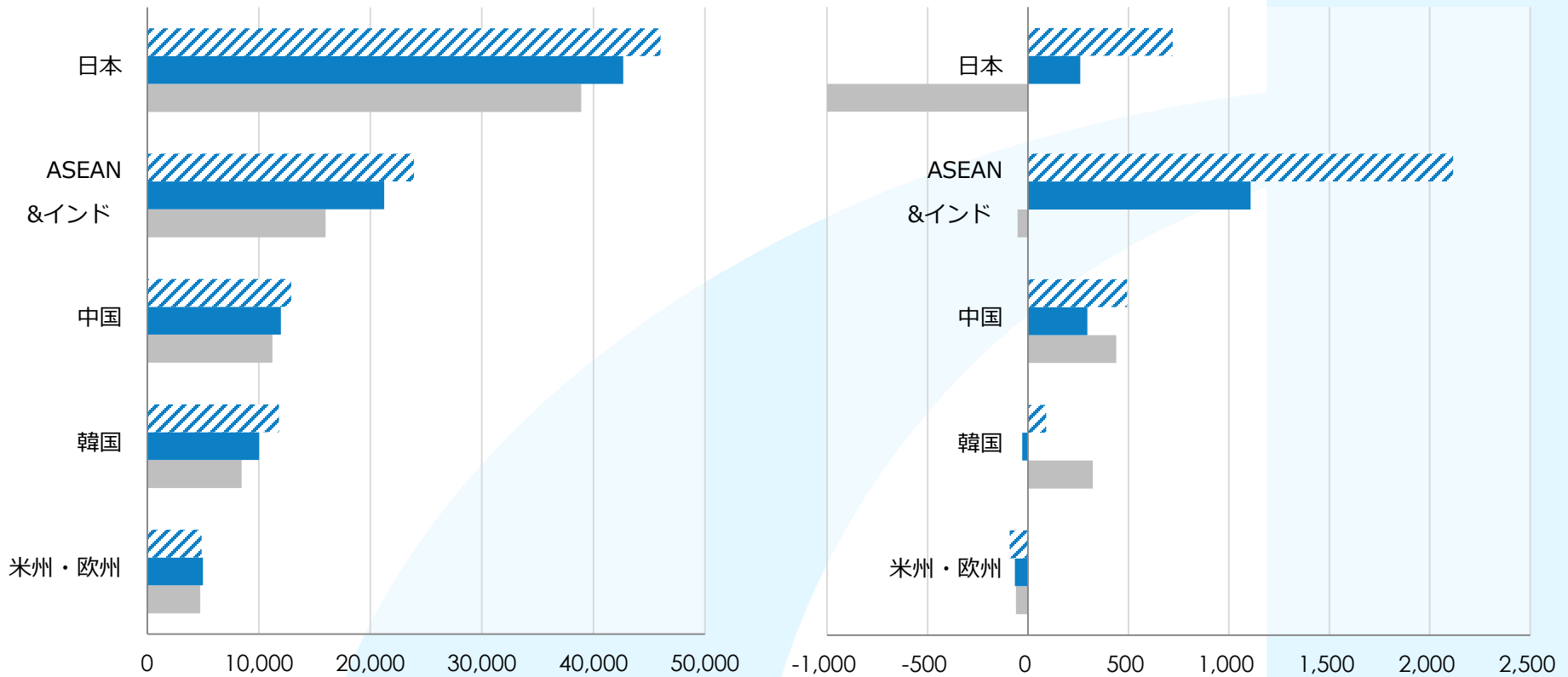
地域別

▨ 2023年3月期
■ 2022年3月期
■ 2021年3月期

(単位：百万円)

売上高

営業利益



※ 連結調整考慮前

チェコ工場閉鎖関連費用が発生する欧州を除き、増益を目指す

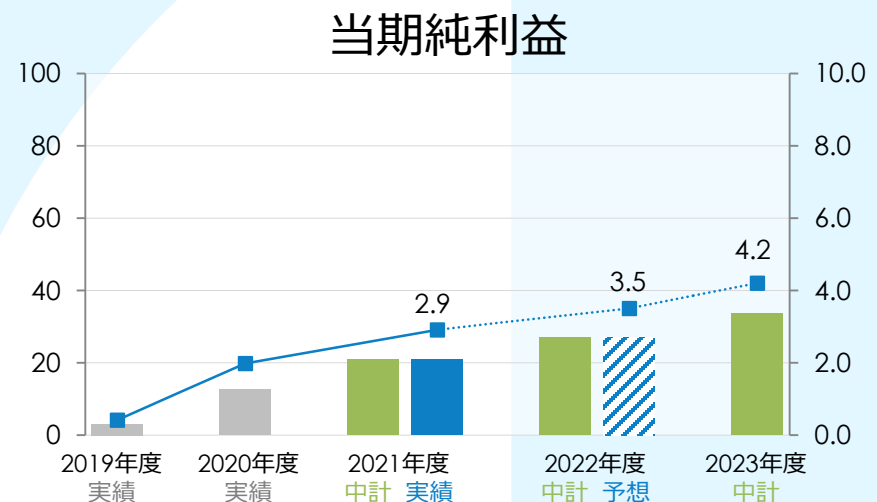
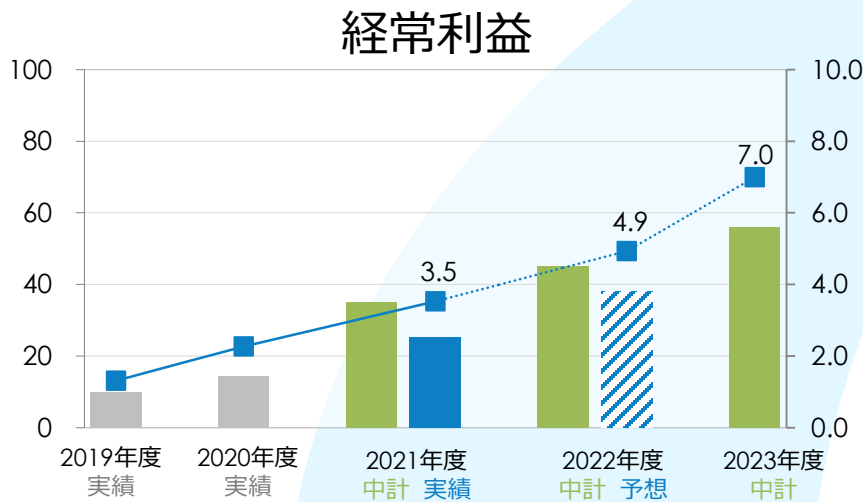
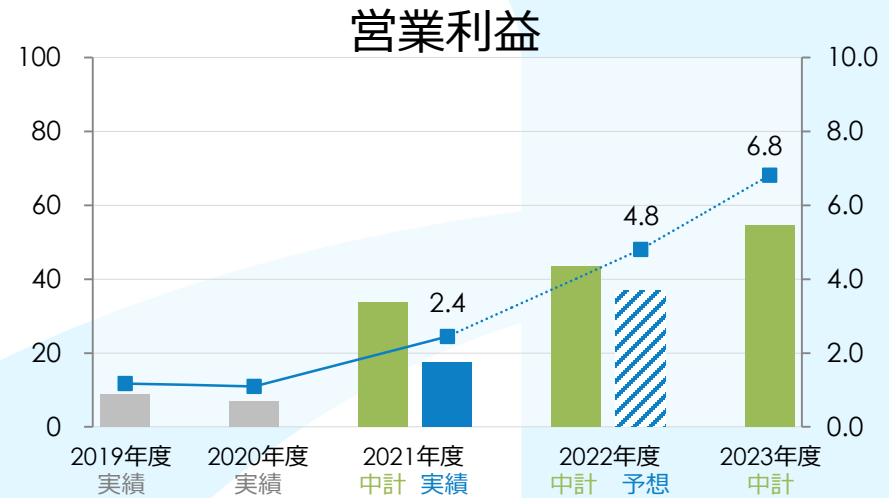
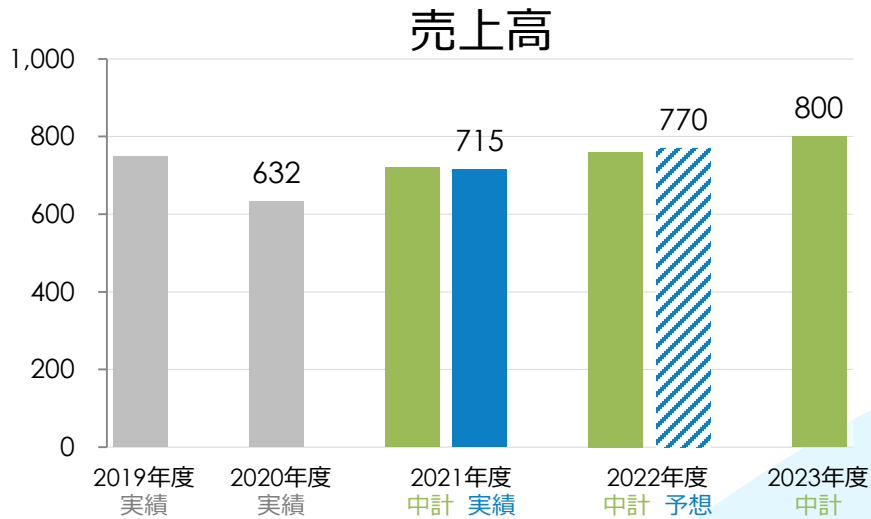
5. 中期経営計画 (2022年3月期-2024年3月期)

5. 中期経営計画 目標値 (2022年3月期-2024年3月期)

売上高・各利益 (連結)

■ 中期経営計画 ■ 利益率

(単位：億円)



5. 中期経営計画

「深化」と「新化」全体像



- **CASE 対応事業の拡大**

- バッテリーホールドシートが
TOYOTA「bZ4X」に採用

- **ライフサイエンス事業の創出**

- スフェロイド形成容器 SphereRing® を
用いた研究論文が好評
- ヒト毛根細胞順化培養液
Phicello Mouを配合した養毛料が発売開始

- **ワイパー事業の強靱化**

- ワイパー仮想設計ソフト第一弾
FWIP-SIM-Pの開発完了
- 大型恒温槽導入完了
ワイパー実験棟増設

- **海外事業の選択と集中**

高分子製品（ゴム・樹脂）が生み出すあらゆる機能でクリーンな地球に貢献する

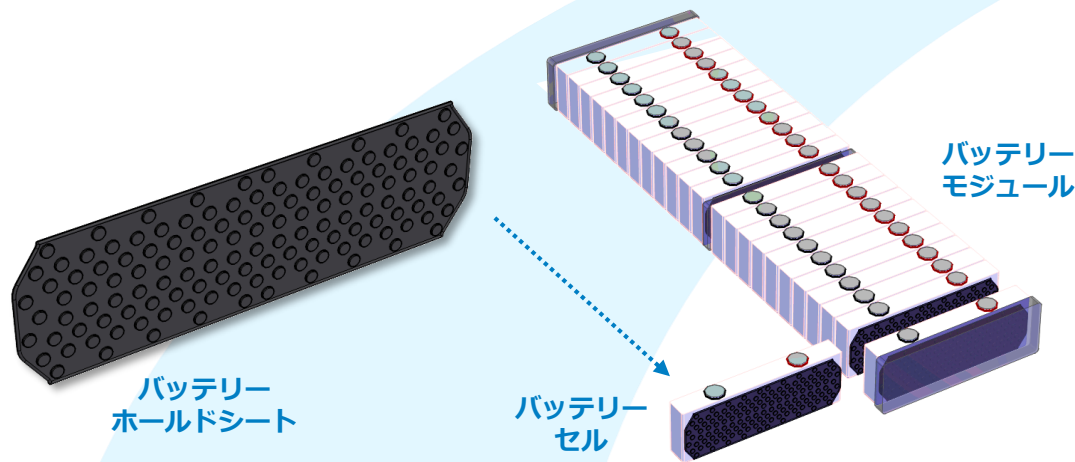
5. 中期経営計画 “新化”

CASE 対応事業の拡大

バッテリーホールドシートが TOYOTA「bZ4X」に採用

バッテリーモジュールの性能向上や長寿命に貢献する製品を開発
TOYOTA初のバッテリー電気自動車（BEV）である「bZ4X」に採用

セルの膨張収縮を最適な力で拘束することでバッテリーの性能向上に貢献



次世代電気自動車部品の領域拡大中

5. 中期経営計画 “新化”

ライフサイエンス事業の創出

スフェロイド※形成容器 SphereRing®を用いた研究論文が好評

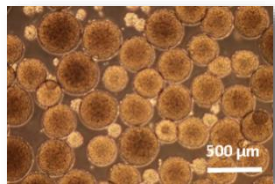
※細胞同士が凝集して塊になったもの

iPS細胞の高品質・高効率培養を目的としたリング状のスフェロイド形成容器 (SphereRing®)

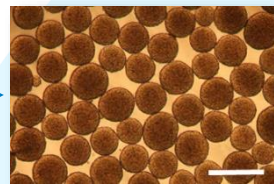
研究成果論文 (東京大学・金沢医科大学) が学会関係の有力誌に掲載



SphereRing®



従来の培養により得られるスフェロイド



SphereRingを用いた場合

ヒト毛根細胞順化培養液 Phicello Mouを配合した養毛料が発売開始

発毛やヘアサイクルの制御に重要な働きを持つ細胞として注目される「毛乳頭細胞」をベースとして開発製造された養毛料



ヒト脂肪由来幹細胞順化培養液 Phicello Mou



ASSEZ SC Scalp Lotion (養毛頭皮ローション)

バイオ事業に代表されるライフサイエンス分野にさらなる力を入れる

5. 中期経営計画 “深化”

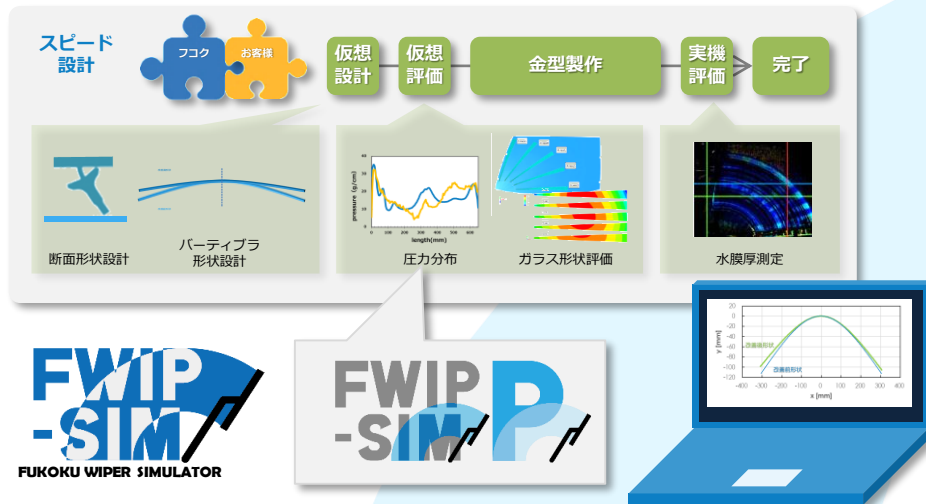
ワイパー事業の強靱化

ワイパー仮想設計ソフト第一弾
FWIP-SIM-P※の開発完了

※FUKOKU Wiper Simulator for Pressure

CAE等を用いワイパー仮想設計を行う事で
共創企業にソリューションを提供するシステム

新規受注に向けた新たな取り組みとして
希望するメーカーへの展開を予定



大型恒温槽導入
ワイパー実験棟増設完了

従来お客様にお願いしていた
実車・実機レベルでの評価が自社内で可能



大型恒温槽導入

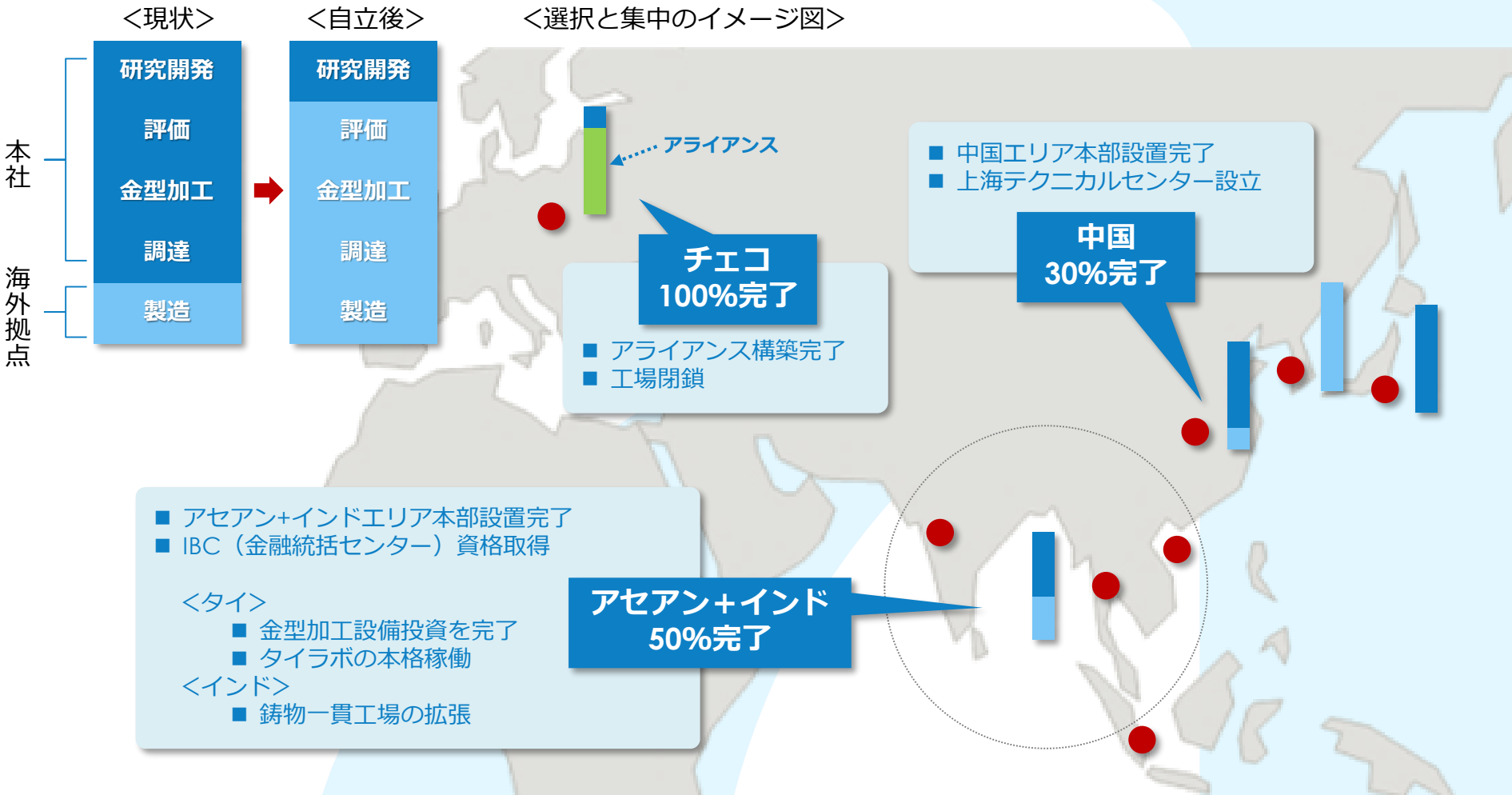


ワイパー実験棟の増設

最適な部品形状・材質を他社よりも速く提供が可能に→更なる拡販の加速

5. 中期経営計画 “深化”

海外事業の選択と集中



地域性と製品競争力を考慮した選択と集中を計画通り推進

6. プライム市場上場維持基準の適合進捗

6. プライム市場上場維持基準の適合進捗

上場維持基準の適合状況

	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
基準日	20,000 _{単位以上}	100 _{億円以上}	35% _{以上}	20 _{百万円以上}
2021年 6月30日 (東証による移行基準日)	105,134 _{単位}	92.9 _{億円} (※1)	59.7%	21.8 _{百万円}
2022年 3月31日 (当社事業年度末)	111,286 _{単位}	108.4 _{億円} (※2)	63.2%	47.6 _{百万円} (※3)

(※1) 2021年4月から6月の日々の最終価格の平均値：883.7円

(※2) 2022年1月から3月の日々の最終価格の平均値：974.0円

(※3) 2021年1月から12月の日々の売買代金の平均値

今後も企業価値向上に努め 流通株式時価総額の継続的100億円超を目指す

7. 株主還元

7. 株主還元

株主還元の考え方（配当政策の基本方針）

連結配当性向 **30%**

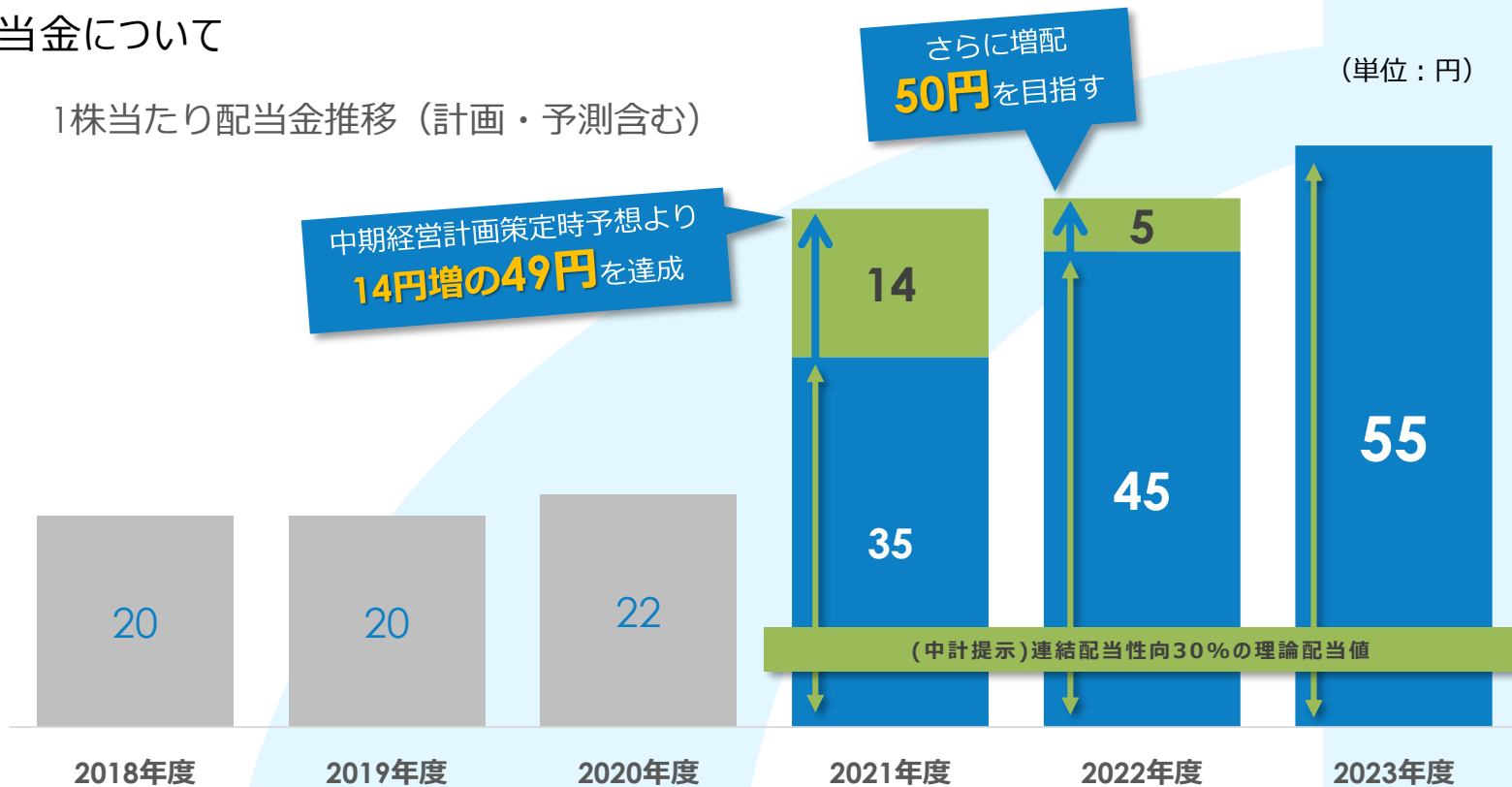
を目安とした安定配当を継続

1株当たり年間20円を下限

※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

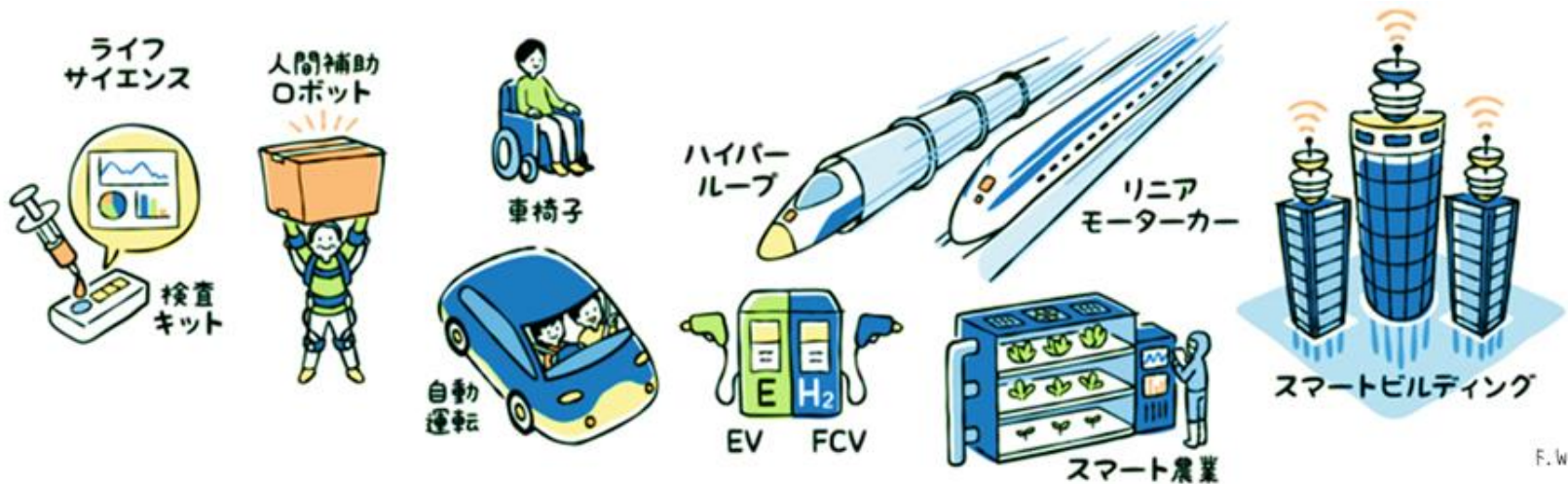
配当金について

1株当たり配当金推移（計画・予測含む）





フコクは“ソフトマテリアル”で“あったらいいな”を実現していきます!



F.w



Φ FUKOKU

ゴムからはじまる 未来がひろがる

株式会社フコクは創業以来の「ものづくり」で培った
設計・試作・評価・量産のノウハウを集結させ
今までに無い価値を提案していきます

注意事項

- ◆ 本資料には、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報に鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

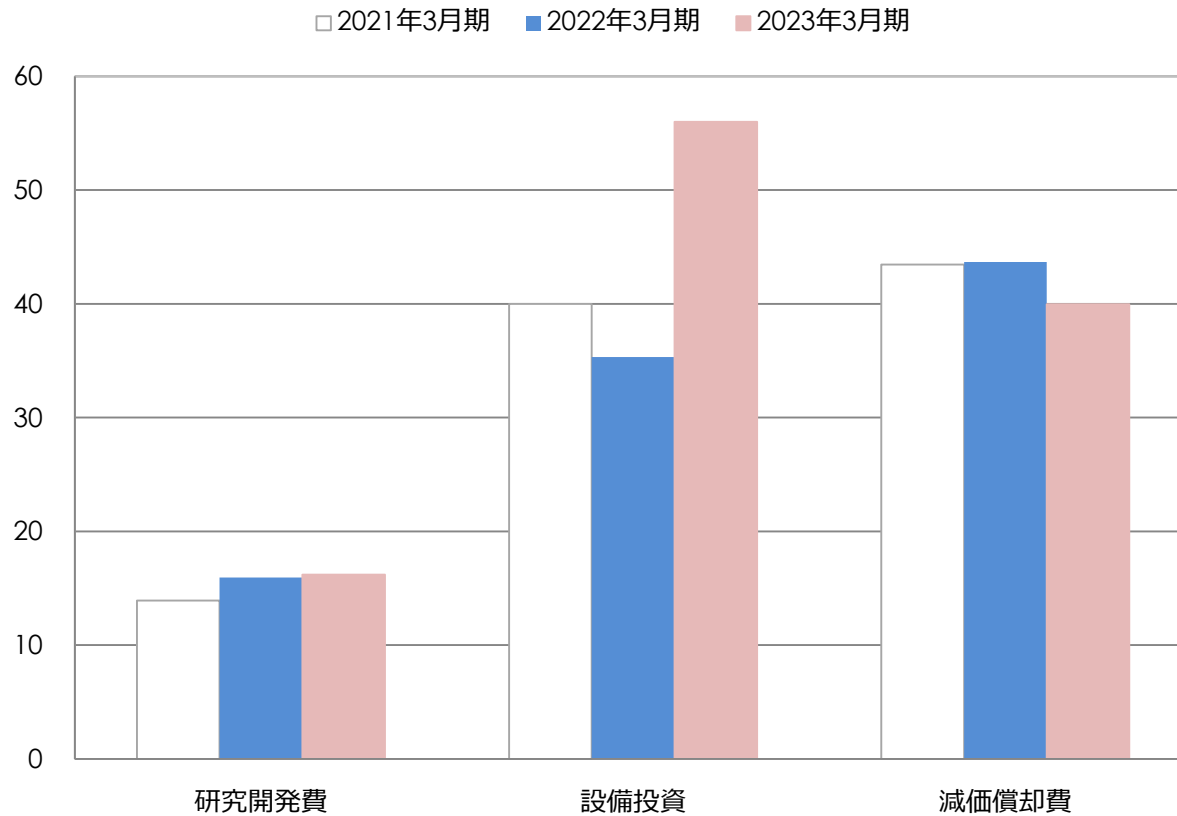
Appendix



1. その他指標

研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)



2. 会社概要

会社概要


 株式会社 

事業概要

ゴム製品、金属・合成樹脂製品、
OA・電子機器・医療用具の製造販売 等

証券コード

東京証券取引所 プライム市場 (5185)

設立

1953年 (創業69年目)

本店

埼玉県上尾市

代表者

代表取締役社長 小川 隆

従業員数

連結 4,732名、単体 1,171名 (※)

株主数

16,279人 (※)

拠点・ 関係会社

- ・ フコク単体 : 5工場、2事業所
- ・ 関係会社
 - 連結子会社 : 国内2社、海外15社
 - 持分法適用会社 : 海外1社

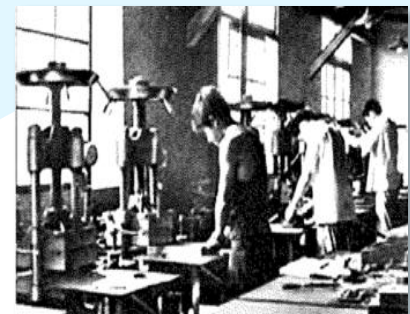


※ 2022年3月31日現在

2. 会社概要

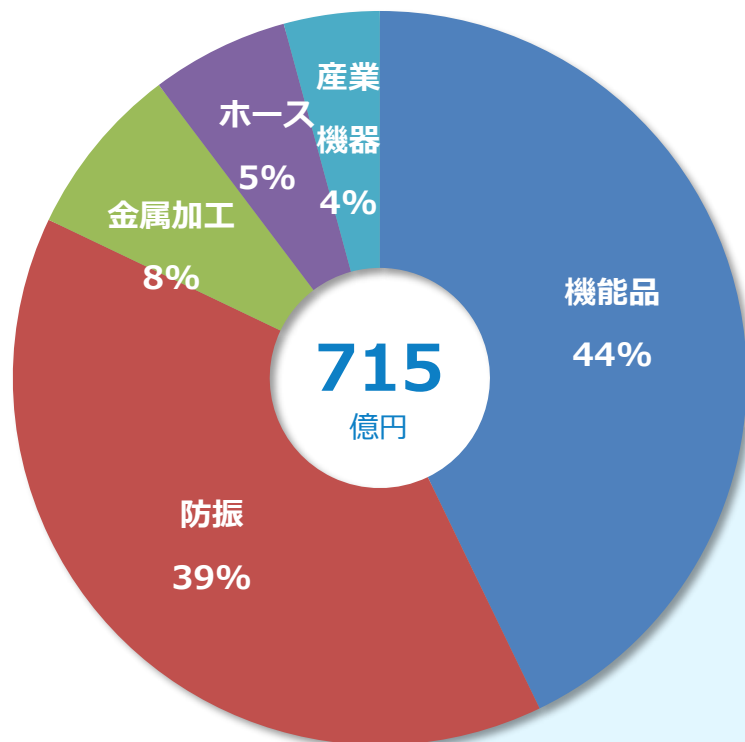
沿革

1953年	12月	創業者の河本 栄一が、 富国ゴム工業株式会社を設立
1956年	4月	ワイパーブレードラバーの技術開発に成功
1972年	9月	末吉工業株式会社に資本参加
1983年	1月	タイ国バンコク市に合併会社タイフコク株式会社設立
1986年	1月	株式会社フコクに商号変更
1994年	10月	日本証券業協会に株式を店頭登録
1996年	2月	株式会社東京ゴム製作所に資本参加
2004年	3月	東京証券取引所 市場第二部に上場
2005年	3月	東京証券取引所 市場第一部に上場
2020年	6月	経済産業省より『2020年版グローバルニッチトップ 企業100選』に当社が選定
2020年	7月	小川 隆が代表取締役社長に就任
2022年	4月	東京証券取引所 プライム市場へ移行



2. 会社概要

事業別売上（2021年度 連結）



機能品



ワイパーブレードドラバー



等速ジョイント用樹脂ブーツ



ダイヤフラム

防振



ダンパープーリー



V-ロッド



ビスカスマウント

金属加工



燃料タンク



プロペラシャフト

産業機器



プリンターローラー



超音波モータ



培養バッグ



液体培地

ホース



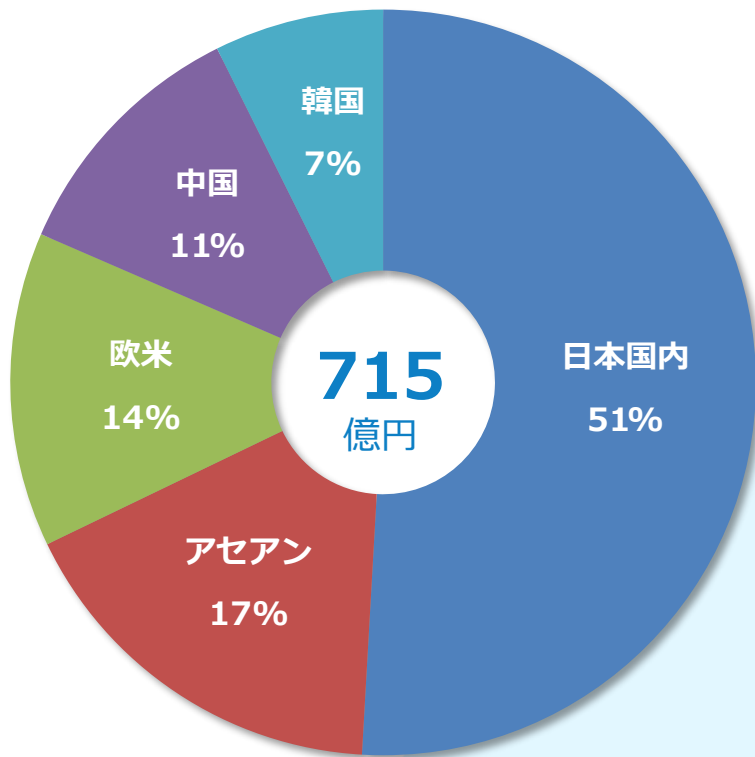
インタークーラーホース



ウォーターホース

2. 会社概要

地域別売上（2021年度 連結）



グローバルネットワーク



日本
1953年



タイ
1983年



韓国
1987年



インドネシア
1997年



アメリカ
2001年



中国
2001年



インド
2010年



ベトナム
2011年



メキシコ
2014年



チェコ
2014年

※顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

※2022年3月閉鎖

2. 会社概要

当社の特徴：多種多様な製品を生産販売



2. 会社概要

高シェア製品

自動車分野

国内シェア
90%以上

他分野

世界
シェア※
(%)

※当社推計

クランクシャフト
ダンパー



15%

ワイパーブレード
ラバー



50%

ビスカスマウント
(建機用)



70%

ダイヤフラム



30%

細胞培養バッグ



35%

ピストンシール



17%

等速ジョイント用
樹脂ブーツ



12%

インゴットワイヤーソー
メインローラー



30%

ニッチな分野で高シェア製品を数多く輩出

2. 会社概要

表彰関連：グローバルニッチトップ企業100選
(2020年6月)

経済産業省より、国際市場開拓に取り組む企業のうち
ニッチ分野で高シェアを確保し良好な経営を
実践する企業として

「2020年版経済産業省

グローバルニッチトップ企業100選」に

選ばれました！

以下審査基準を基に、外部有識者で構成する選定評価委員会の審議を経て選定。

1. 世界シェアと利益の両立
2. 技術の独自性と自立性
3. サプライチェーン上の重要性

